

# 国語科学びづくり案

福山市立霞小学校

- 1 日時 2025 年（令和 7 年）10 月 31 日（金）
- 2 学年 第 1 学年 1 組（32 名）
- 3 単元名 つたえあおう くじらぐもと すごしたときの ことを  
「くじらぐも」（光村図書）

## 4 単元について

### （1）教材観

本単元は、小学校学習指導要領（平成 29 年告示）国語 第 1 学年及び第 2 学年〔思考力、判断力、表現力等〕C 読むこと（1）エの指導事項「場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。」を受けて設定した。本教材「くじらぐも」は、体育の時間にくじらの形をした雲が現れ 1 年 2 組の子ども達を空の旅に連れて行ってくれる物語である。登場人物が同じ 1 年生であることや、体育の時間の話であることが児童にとって身近であるため、登場人物である 1 年 2 組の子ども達になりきって、子ども達の行動を動作化したり、子ども達のセリフや表情を考えたりすることで、登場人物の行動を具体的に想像する力を育成することに適した特徴を有していると考ええる。

### （2）児童観

本学級の児童は、文学的な文章の学習としては、これまでに次のようなことを行っている。「はなのみち」では、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉える学習を行った。動作化をすることで、登場人物になりきって登場人物の行動や主な出来事、結末を理解することができた児童が 9 割に達した。一方で、文章から場面を想像することができず、動作化できない児童が 1 割程度いた。

また、「おおきなかぶ」では、かぶを引っ張ってもなかなか抜けない時、登場人物がどんなことを言ったかを考える学習を行った。本学級の 9 割の児童は、「まだ抜けないの。」「早く抜けないかな。」「どうやったら抜けるんだろう。」といった台詞を考えることができていた。しかし、その多くは友達の発言を参考にしたり真似したりすることで発言できていたことが考えられ、本文の言葉を根拠にして理由をつけながら自分の考えを説明できた児童は約 3 割にとどまった。

### （3）指導観

指導に当たっては、登場人物になりきって行動を具体的に想像することができるようにするために、登場人物の会話や気持ちを吹き出しに書き入れたり、動作化したりしながら文章を読ませていく。

文章から場面を想像することができず、動作化が苦手な児童には、挿絵を文章と結び付けながら、『『ここにおいでよう。』はどんな声の大きさや速さ、表情で言ったかな。』『〇〇さんが友達に『おいで。』と呼ぶときはどんなふうと呼ぶかな。』などと問いかけながら動作化させることで、登場人物の行動を具体的に想像できるようにする。それでも登場人物の行動を具体的に想像することが難しい児童は、まずは教師や友達が動作化したことまねながら、丁寧に叙述と動作を照応させることで、徐々に場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる力を育成していきたい。

学校図書館の活用については、教材文のモチーフとなっている「雲」に関する図書資料を用いるとともに、並行読書として作者の中川李枝子さんの本を教室に置いておく。物語の世界にスムーズに入り込めるよう、単元導入時には教師が空や雲の写真が載った図鑑を見せたり、雲を題材にした絵本を読み聞かせたりする。また、児童がくじらぐもに乗って旅をしたときに何が見えるかを具体的に想像できるようにするため、航空写真や高い場所からの写真が載った本を提示する。

## 5 本単元の目標と評価の観点

### (1) 本単元の目標

- 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。 【知識及び技能】(1) ク
- 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。  
【思考力、判断力、表現力等】C (1) エ
- 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。 【学びに向かう力、人間性等】

### (2) 評価規準

( ) 内は鷹取中学校区育成する力(資質・能力)

知識・技能 (知識・技能)	思考・判断・表現 (課題発見・解決力)	主体的に学習に取り組む態度 (主体性)
① 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。	① 「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。	① 進んで、場面の様子に着目して登場人物の行動を具体的に想像し、学習課題に沿って、役割を決めて音読したり演じたりしようとしている。

6 単元計画（全8時間）

次	時	学習活動	学校図書館活用の ポイント	評価規準
(単元前)		○校庭から雲を見て写真を撮り、雲がどんな形に見えるか自由に想像する。	・空や雲の図鑑や、雲が出てくる絵本を教室に置き、児童が手に取れるようにしておく。また、読書タイムなどで教師が読み聞かせをする。	
一	1	○題名や扉の絵を見て物語の内容を予想したり、範読を聞き、挿絵を並び替えてどんな場面か説明したりする。		
	2	○登場人物や主な出来事、結末を確かめ、内容の大体を捉える。		
二	3	○こども達がくじらぐもに呼びかけた場面の登場人物の様子を想像する。 ・こども達とくじらぐものいる場所を確かめながら、空にいるくじらぐもに向けて呼びかける時には、どんな呼びかけ方をするか考える。		
	4	○こども達がくじらぐもに飛び乗ろうとする場面の登場人物の様子を想像する。 ・「天までとどけ、一、二、三。」と言って3回ジャンプするときの様子は3回とも同じなのか考える。 ・実際に、30センチと50センチの長さのテープを比べ、こども達が飛んだ高さを具体的に想像する。		○語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。【知①】
	5	○くじらぐもに乗ることができたこども達の様子を具体的に想像する。 ・くじらぐもに乗れたときに言った		

		<p>ことを挿絵の吹き出しに書いて交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分だったらくじらぐものどこに乗りたいか考え、おおきなくじらぐもに自分の姿の絵を貼る。</li> </ul>		
	6 (本時)	<p>○くじらぐもに乗って旅をする場面の登場人物の様子を想像する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の挿絵や航空写真などを手掛かりに、雲の上から見えるものを想像し、こども達が雲の上でしたことを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・航空写真や高い場所から見える景色が載っている図書資料を提示する。</li> </ul>	<p>○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している(発言・記述) 【思①】</p>
	7	<p>○くじらぐもとお別れをする場面の登場人物の様子を想像する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達など、身近な人と別れた際の経験を想起しながら、くじらぐもに手を振っている時のこども達の様子を演じることを通して具体的に想像する。</li> </ul>		<p>○進んで、場面の様子に着目して登場人物の行動を具体的に想像し、学習課題に沿って、役割を決めて音読したり演じたりしようとしている。【主①】</p>
三	8	<p>○くじらぐもと過ごした時の様子や、くじらぐもに対する思いをふり返り、伝え合う。</p>		

## 7 本時の目標

くじらぐもに乗って旅をする場面の様子に着目して、こども達の気持ちや様子を具体的に想像することができる。

## 8 本時の展開

展開	◎学習活動 ・予想される児童の反応	○指導上の留意事項	◆評価規準 (評価方法)
導入 (5分)	◎前時までの学習をふり返し、本時のめあてを確認する。	○前場面までの物語の展開を、学習の足跡を残した掲示等を用いながら振り返ってから、本時のめあてを児童に出させることで、本時の学習にスムーズに入れるようにする。	
	めあて：みんなは くものうで どんなことをしたのか かんがえよう。		
展開 (35分)	<p>◎くじらぐもに乗って旅をする場面を音読し、空の中を進むくじらぐもとこども達の様子を想像する。</p> <p>○「さあ、およぐぞ。」はどのように言ったのか問いかける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「よーし！行くぞー！」とはりきって</li> <li>・元気いっぱい</li> <li>・これから楽しみだという気持ちで明るく</li> </ul> <p>○「青い 青い」や「どこまでも どこまでも」の言葉に着目させ、どうして2回繰り返しているか問いかける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空がとても青いことを伝えたいから。</li> <li>・いつも見ている空よりももっと青い空だったから。</li> <li>・空がずっと続いているから。</li> <li>・くじらぐもといろんな場所に行って、空がとても広いことが分かったから。</li> <li>・くじらぐもとの旅がずっと続いてほしいなと思っているから。</li> </ul> <p>○雲の上から何が見えると思うか問いかける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろんな屋根の色の家が見えるかな。</li> <li>・きらきらしている海。</li> </ul>	<p>○くじらぐもとこども達がしたことを教科書の言葉と挿絵をつながけながら確かめることで、場面の様子に着目できるようにする。</p> <p>○実際に「さあ、およぐぞ。」を言うように促し、登場人物の行動の具体的な想像につなげられるようにする。</p> <p>○児童の発言に対し、どうしてそう思ったのか、教科書のどの文や言葉からそう考えたのか問いかけることで、叙述に即して想像できるようにする。</p>	
	<div>学校図書館活用のポイント</div> <div>航空写真や高い場所から見える景色が載っている図書資料を提示する。</div>		

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私の家も見えるかな。</li> <li>・海の上に浮かんでいる船。</li> <li>・電車が走っているの見えるかな。</li> </ul> <p>◎雲の上でこども達がしていることを想像し、吹き出しカードに書いて交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海に船が浮かんでるよ。空から見ると、船も小さく見えるね。</li> <li>・空は広くて気持ちがいいね。</li> <li>・みてみて！私の住んでいるおうちが見えるよ。</li> <li>・くじらぐもの上はこんなにふわふわしているんだね。</li> <li>・町にはこんなに建物があつたんだ。</li> <li>・空から見た景色はきれいだな。</li> </ul>	<p>○前時に作成した、くじらぐものに自分たちが乗っている様子の掲示物を黒板に掲示することで、登場人物になりきって具体的に想像できるようにする。</p> <p>○思いつかない児童には、教科書の挿絵や航空写真や高い場所から見える景色が載っている図書資料を見せながら、雲の上から何が見えると思うか、それが見えたとき、自分だったらどんなことをするか問いかける。</p>	<p>◆場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している（発言・記述）</p>
終末 (5分)	◎学習のふり返しをする。	○雲の上でしたことを想像してみてもうだったかを問いかけ、振り返りを全体で交流する。	

## 9 板書計画

くじらぐものに児童が乗っている様子の掲示物

くじらぐものうえは  
こんな ふわふわ  
しているんだ。

空から 見る  
けしきは  
きれいだね。

空が ひろくて  
きもちいいね。

みてみて！  
わたしのおうちが  
みえるよ。

うみに ふねが う  
かんでいるよ。空か  
ら見ると、小さくみ  
えるね。

まちに こんなに  
たてものが あつ  
たんだ。

航空写真や高い場所から見える景色の挿絵・写真

航空写真や高い場所から見える景色の挿絵・写真

航空写真や高い場所から見える景色の挿絵・写真

航空写真や高い場所から見える景色の挿絵・写真

め

みんなは くものうえで どんなことを したのか かんがえよう。

はりきって げんきよく たのしみ あかるく  
「あ、およいぞ。」

とても青い いつもよりもつと青い  
青い 青い 空のなかを

空は どうまでも どうまでも つづきます  
空がずっとつづいている。とてもひろい  
たびがずっとつづいてほしいな

くじらぐも

なががりえこ